

I. 履 修 概 要

I. 履修概要

1. カリキュラムについて

(1) 目 標

愛国学園大学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、本学園の建学の精神を旨とし、幅広い教養と人間文化に関する高度の知識と学芸を教授研究し、我が国の文化の発展に貢献するとともに、専門性を持った人間性豊かな女性を育成することを目的としている。本学人間文化学部は、「親切正直」という校訓の下、学園の伝統である社会の多様なニーズに応える実践型即戦力を備え、複雑な現代社会を力強く生き抜く女性の教育を、カリキュラムの目標とする。

(2) - 1 履修の流れ (2025 年度以降入学者)

1 年次は共通教養科目を履修するとともに、3 年次以降に始まる専門的な学修を見据え、専門科目・導入科目を履修していく。2 年次は専門科目のなかの導入科目のほか、基幹科目の履修も始めて、より深い学びの基礎を作っていく。

3 年次からは発展科目の履修のほか、卒業研究科目の履修も開始する。この科目は本学の学修の集大成である卒業論文の作成を見据え、3 年次は人間文化演習を、4 年次には卒業研究演習を履修する。

以上の専門科目履修にあたっては、各専攻より提示されている「履修モデル」を参考に履修を進めていくと、より体系的に学びが深まっていく。複数の履修モデルにチャレンジし、本学の教育理念である「幅広い教養と専門性」の獲得に努めてもらいたい。

(2) - 2 履修の流れ (2024 年度以前入学者)

1 年次は主に共通教養科目を履修し、2 年次前期には各専攻の専門科目を先行的に履修し、2 年次後期から「日本理解」、「心理・生活」、「地域共生」、「ビジネス」の4 専攻より「主専攻」、「副専攻」を決めて専門科目を履修する。卒業研究科目は所属した「主専攻」の指導教員の下で履修する。より幅広い専門科目を履修出来るよう「主専攻」に所属しながら、もうひとつの専攻として「副専攻」を選択し、その専門科目を履修する。「主専攻」、「副専攻」以外の2 専攻を「他専攻」とし、その専門科目を履修する。

(3) - 1 授業科目の構成 (2025 年度以降入学者)

授業科目は共通教養科目、情報・キャリア支援科目、専門科目、卒業研究科目で構成され、卒業要件単位数は124 単位である。ただし外国人留学生においては、上記の科目以外に、外国人留学生日本語支援科目を履修する。同科目は卒業要件単位には含まれないが、この科目を履修(または認定免除)しない限り、卒業研究演習の単位は付与されない。

1) 共通教養科目

① 基盤形成科目 (12 単位必修)

人間文化学部はリベラルアーツ型の教育を志向し、その上に専門科目が用意されている。基盤形成科目は高校までの学習と大学での学修の橋渡しをするブリッジ科目であり、どのような専門的な学修にも不可欠の学びとなっている。

② 外国語科目（8単位）

英語、中国語から選択し、履修する。なお、外国語科目については、母語を選択できない。

③ ウェルネス科目（2単位）

スポーツに興味を持たせ、健康に関心を向けさせるための科目が用意されている。

2) 情報・キャリア支援科目（6単位必修）

情報・キャリア支援科目は大別して、コンピュータ系の科目とキャリア支援系の科目の2種類が用意されている。

コンピュータ系の科目では、コンピュータリテラシーを基礎から学び向上させ、高度化する情報社会に適応できる技能の習得を目指す。基盤形成科目の情報基礎演習の履修をさらに発展させるための科目が設けられている。

キャリア支援科目では、就職活動や資格取得に必要な科目が用意されている。キャリア形成への準備や学習の方法として仕事と人生、キャリアデザインⅠ・Ⅱ、秘書資格科目などの科目が設けられている。

3) 専門科目

専門性を深めるための学びとして、専門科目が用意されている。専門科目は以下の履修モデルに沿って学ぶと、その体系性が深まる。また専門科目では体系性を重視して、導入科目（10単位以上）、基幹科目（12単位以上）、発展科目（8単位以上）に区分した。

現在、本学で用意されている履修モデルは下記の15モデルである。なお履修モデルの詳細については別資料を参照。

モデル① 「ちばについて学び、ちば愛を育む」

愛国学園大学が立地する千葉は首都圏にあり、開発が進みながらも豊かな自然に恵まれ、魅力にあふれている。このような千葉を学び、千葉への愛着を深め、これからの千葉を担うことができる知識やスキルを身につける。

モデル② 「世界のいまを学び、グローバルに活躍する基礎を養う」

これからの世界は、国の内外でグローバル化が進んでいく。そのような時代のなかで求められるのは、「幅広い教養」になる。本履修モデルでは、そうした幅広い教養を身につけることが、目標となる。

モデル③ 「観光を元にして地域や社会について考える」

観光は主体、客体、媒体のそれぞれの観点からとらえることが出来る。そうした複数の視点を身につけることにより、問題を発見する能力を養う。さらに、観光現場に赴き、課題解決方法を提案できる力をつけると共に、それを表現出来るようになることを目指す。

モデル④ 「日本語教師に必要な知識を学ぶ」

日本語を通して、グローバルな視野を持つと同時に豊かな教養と人間性を備えることができる。また、多様な言語や文化に対して、関心と理解を持つことができ、実践的なコミュニケーション能力も養うことができる。

モデル⑤ 「心理学をしっかりと学ぶ」

自分自身や対人関係などについての理解を深め、対人コミュニケーションについての知識やスキルを身につける。また、人の様々な特徴や行動を調査実験する手法を学び、得られたデータを分析し、結果をまとめ報告するスキルを身につける。

モデル⑥ 「心理学と援助の知識を学ぶ」

子どもの心のケアや生活についてのサポート、またそれらに関する実践的な経験を深めることを通して、援助のための幅広い知識を身につける。また、様々な職種や立場の人々と連携や協働するためのコミュニケーション力を身につける。

モデル⑦ 「人々の暮らしや生活を学ぶ」

多様な価値観や文化への理解を深め、他者とのコミュニケーションや、食と健康を中心とした生活の向上に役立つ知識や社会で活躍するための技能を身につける。また、暮らしに関する情報を科学的に評価し、人々の健康に貢献できるよう、実践的な能力も身につける。

モデル⑧ 「地域をデザインする人材になる」

地域課題を発見し、経済的視点を踏まえて解決策を提案・実行できる、地域をデザインする力の獲得を目指す。

モデル⑨ 「地域から世界まで幅広い視野を持ち、社会の問いに向き合い行動できる人間になる」

グローバル化が進むなか、世界とつながりながら地域でよりよく暮らすためにはどうしたらよいのか。地域社会のなかで考え、立ち上がった問いに向かって行動し、答えを導き出す力を身につけることを目指す。

モデル⑩ 「社会に貢献するまちづくりの実践と未来の担い手になる」

多様な人々と協働しながら、お互いに学びあい、育てあえるまちづくりを実現するための知識と技術を習得して、コミュニケーション力やファシリテーション力を身につけることを目指す。

モデル⑪ 「これまでの人間の営みを学び、これからの社会を創造できる人間になる」

わたしたちは過去の出来事に影響され、現代社会を生きている。同じようにわたしたちは未来の社会のあり方にも大きく関わっている。人間や社会について、歴史的に考えることができる力を身につける。

モデル⑫ 「ICT（情報通信技術）の担い手となる」

ICTに関わる学びをつうじて、情報化社会において欠かせない知識・技能を身につけ、それらを積極的に活用することで、社会と文化の発展に貢献する人材になることを目指す。

モデル⑬ 「ビジネス・経営に貢献できる人材を目指す」

ビジネスに関わる学びをつうじて、人間文化全般にわたる幅広い教養と専門的知識・技能および課題発見・解決力を身につけ、自立した個人として、他者と協働しながら主体的に社会と文化の発展に貢献する人材になることを目指す。

モデル⑭ 「アントレプレナーシップ（起業家精神）の基礎を身につける」

従来の考えにとらわれず、自由な発想でアイデアを生み出し、さまざまな社会問題に積極的に関与しながら、地域社会に持続可能な価値を提供する力を身に着けることを目指す。

モデル⑮ 「会計・財務の専門的知識・技能を身につける」

財務や会計に関する知識を活用しながら、経営戦略や市場分析、企業価値の向上といった経営者目線でビジネスの持続的な成長に貢献する人材になることを目指す。

4) 卒業研究

① 人間文化演習（4単位必修）

各専攻の専門科目を足掛かりにして卒業研究の準備をなす科目である。卒業研究科目は専攻単位で開講されており、各専攻の狙いは下記のとおりである。なお卒業研究科目においては、原則として3年次に所属を決定した専攻で2年間学習する。

ア 日本理解専攻（Japan Studies）

日本理解専攻は、世界における日本を理解するため、日本の言語と歴史、文化、事情に関する科目だけではなく、西洋、東洋を含む世界の地域と文化についての包括的な知識を得る科目も備えている。華道と茶道、さらにポップカルチャーを、日本文化理解の一環として実習し、日本を観光という視点からも多角的に学習できる。

イ 心理・生活専攻（Psychology & Life）

心理・生活専攻では、生きていくなかで出会う様々な問題に対処するために、「心」と「社会」の仕組みを学び、活用するための科目を備えている。心理学、生活科学、福祉論の面から追求し、生活の豊かさの有り様について多角的に学習できる。

ウ 地域共生専攻（Regional Studies）

地域共生専攻では、法学や経済学、政策科学といった社会科学系科目が主に配置されているが、それにとどまらず、社会科学と関係の深い文化人類学や環境学に関する科目も配置されている。授業は、一般的な講義に加えて演習や実習もあり、地域を総合的に学習できる。

エ ビジネス専攻 (Business)

ビジネス専攻には、企業と経営、会計、情報に関する理解を深め、情報通信技術を活かしたビジネスを学び、併せて実践的な技能を習得できる科目が配置されている。現代ビジネスを、経営・財務、ICTの面から多角的に学習できる。

② 卒業研究演習（4単位必修）

人間文化演習を踏まえて卒業研究を行い、その成果として卒業論文を作成する。卒業研究演習では、そのための準備を行う。

③ 卒業論文（2単位必修）

卒業研究演習での指導により、卒業論文を作成する。卒業論文は本学の学びの集大成であり、4年次に発表会で概要を報告する。

(3) - 2 授業科目の構成（2024年度以前入学者）

授業科目は共通教養科目、専門科目、卒業研究科目で構成され、卒業要件単位数は124単位である。但し外国人留学生は上記の科目以外に、卒業要件単位には含まれない外国人留学生日本語支援科目を、日本語能力に応じて履修する。

1) 共通教養科目

① 初年次教育科目（2単位必修）

人間文化学部の概要と大学での学び方や大学生活の有意義な過ごし方について学習する。入学後、新入生が円滑に大学の授業に適應できることを目的とした内容で構成されている。

② 基礎科目（20単位必修）

人間文化学部はリベラルアーツ型の教育を志向しており、幅広い教養を学ぶための科目が用意されている。2年次から各専門科目を学ぶ上での、4専攻に共通する基礎となる科目で構成されている。

③ 第1外国語科目（8単位必修）

英語で「読む、書く、聞く、話す」といった基礎能力を身につけ、同時に諸外国で英語を用いてコミュニケーションできるようになることを目指す。

④ 第2外国語科目（2単位選択必修）

中国語・スペイン語・日本語から1科目2単位を選択し、履修する。

なお、第2外国語科目については、母語を選択できない。

⑤ コンピュータ科目（4単位必修＋2単位選択必修）

コンピュータリテラシーを基礎から学び向上させ、高度化する情報社会に適応できる技能の習得を目指す。コンピュータの基本操作（キーボード入力、ファイル管理など）と汎用的なオフィスアプリケーション（文書作成、表計算、プレゼンテーション）の利活用方法を学ぶ。

⑥ キャリア形成科目（4単位必修）

就職活動や資格取得に必要な科目が用意されている。キャリア形成への準備や学習の方法としてキャリアデザイン、秘書資格科目などの4科目がある。

⑦ スポーツ健康科目（2単位必修）

スポーツに興味を持たせ、健康に関心を向けさせるための科目が用意されている。

2) 専門科目

学生は、「主専攻」の専門科目から40単位、「副専攻」の専門科目から24単位、「他専攻」の専門科目から10単位を修得しなければならない。「主専攻」の専門科目のうち6科目12単位は、科目が指定された専門必修科目となっている。「副専攻」12科目24単位は、「副専攻」の専門科目から自由に科目を選択できる。「他専攻」5科目10単位は、「主専攻」「副専攻」以外の専攻の専門科目から自由に科目を選択できる。

① 日本理解専攻（Japan Studies）

日本理解専攻は、世界における日本を理解するため、日本の言語と歴史、文化、事情に関する科目だけではなく、西洋、東洋を含む世界の地域と文化についての包括的な知識を得る科目も備えている。華道と茶道、さらにポップカルチャーを、日本文化理解の一環として実習し、日本を観光という視点からも多角的に学習できる。

この専攻を主専攻とする者は、日本文化論、日本語学概論Ⅰ、日本と西洋文化、日本とアジア、日本と国際社会、観光学Ⅰの計12単位が必修である。その他に、選択科目として28単位を履修する。

② 心理・生活専攻（Psychology & Life）

心理・生活専攻では、生きていくなかで出会う様々な問題に対処するために、「心」と「社会」の仕組みを学び、活用するための科目を備えている。心理学、生活科学、福祉論の面から追求し、生活の豊かさの有り様について多角的に学習できる。

この専攻を主専攻とする者は、心理学概論、社会心理学Ⅰ、認知心理学、生活科学概論Ⅰ、食品機能学、社会福祉論の計12単位が必修である。その他に、選択科目として28単位を履修する。

③ 地域共生専攻 (Regional Studies)

地域共生専攻では、法学や経済学、政策科学といった社会科学系科目が主に配置されているが、それにとどまらず、社会科学と関係の深い文化人類学や環境学に関する科目も配置されている。授業は、一般的な講義に加えて演習や実習もあり、地域を総合的に学習できる。

この専攻を主専攻とする者は、公共政策学、農業経済学、文化人類学、移民政策論、社会調査法、地域共生フィールドワーク実習の計12単位が必修である。その他に、選択科目として28単位を履修する。

④ ビジネス専攻 (Business)

ビジネス専攻には、企業と経営、会計、情報に関する理解を深め、情報通信技術を活かしたビジネスを学び、併せて実践的な技能を習得できる科目が配置されている。現代ビジネスを、経営・財務、ICTの面から多角的に学習できる。

この専攻を主専攻とする者は、ビジネス情報学、情報資格演習、ビジネスモデル論、女性起業論、簿記論、マーケティング論の計12単位が必修である。その他に、選択科目として28単位を履修する。

3) 卒業研究

① 人間文化演習 (2単位必修)

各専攻の専門科目を足掛かりにして卒業研究の準備をなす科目である。

② 卒業研究演習 (4単位必修)

人間文化演習を踏まえて卒業研究を行い、その成果として卒業論文を作成する。

(4) 資格取得を支援する科目

1) 取得可能な資格と資格取得を支援する開講科目

資格取得のためにはそれぞれの機関が行う試験に合格しなければならないが、取得可能な資格とそれを支援する開講科目には以下のようなものがある。

それぞれの希望に応じてフレキシブルな履修を通して、将来の可能性を広げていくことが望ましい。

取得可能な資格と資格取得を支援する開講科目

取得可能な資格	資格取得を支援する開講科目
実用英語技能検定	英語 I ～IV
中国語検定 (4 級)	中国語
カラーコーディネーター検定 (3 級)	学習心理学、教育心理学、産業心理学、認知心理学、色彩心理学
ファッション販売能力検定 (2 級)	学習心理学、教育心理学、産業心理学、経営学概論、秘書学概論、秘書学演習、会計学概論、財務管理論、マーケティング論、原価計算論
販売士検定 (2 級)	
アロマテラピー検定 (1・2 級) ※	生活科学概論 I、生活科学概論 II
基本情報技術者試験※	情報資格演習
I T パスポート試験※	
情報セキュリティマネジメント試験	情報セキュリティ概論
MOS (Microsoft Office Specialist)	情報基礎演習、文書処理演習、表計算演習、プレゼンテーション演習
EXCEL®表計算処理技能認定試験 (3 級)	表計算演習
Word 文書処理技能認定試験 (3 級)	文書処理演習
ビジネス文書検定 (3 級)	文書処理演習
日商簿記検定 (2 級・3 級) ※	簿記論、簿記演習、会計学概論、原価計算論
秘書技能検定※	秘書学概論、秘書学演習
ビジネス実務マナー検定	秘書学概論、秘書学演習、簿記論、簿記演習、会計学概論
サービス接客検定	
華道	
茶道	茶道演習

(注)※の付いた資格を取得すると「修学奨励会」から報奨金が支給されます。

2) 本学の所定の科目を単位取得することで認定される資格

① 認定心理士について

心理学関係の科目を集中的に取得して下記に示すような単位を満たした場合（原則として評価A）には認定心理士の資格申請ができる。

認定心理士とは、日本心理学会から、大学で心理学の知識と技能を身につけたことを認定された者である。以下の授業科目を修得することによって、認定申請の資格が得られる。

認定申請に必要な単位	対応する授業科目
<p>(1) 基礎科目:以下の3領域各3単位以上 で計12単位以上</p> <p>(A) 心理学概論 (B) 心理学研究法 (C) 心理学実験・実習</p>	<p>(A) 心理学概論 心理学基礎 2単位 心理学概論 2単位</p> <p>(B) 心理学研究法 心理学研究法Ⅰ 2単位 心理学研究法Ⅱ 2単位</p> <p>(C) 心理学実験・実習 心理学実験実習Ⅰ 2単位 心理学実験実習Ⅱ 2単位</p>
<p>(2) 選択科目:以下の5領域のうち3領域 以上各3単位以上計16単位以上</p> <p>(D) 知覚心理学・学習心理学 (E) 生理心理学・比較心理学 (F) 教育心理学・発達心理学 (G) 臨床心理学・人格心理学 (H) 社会心理学・産業心理学</p>	<p>(D) 知覚心理学・学習心理学 認知心理学 2単位 学習心理学 2単位 色彩心理学 2単位</p> <p>(F) 教育心理学・発達心理学 教育心理学 2単位 発達心理学 2単位</p> <p>(G) 臨床心理学・人格心理学 性格心理学 2単位 臨床心理学 2単位</p> <p>(H) 社会心理学・産業心理学 社会心理学Ⅰ 2単位 社会心理学Ⅱ 2単位 産業心理学 2単位</p>
<p>(3) その他の科目:心理学関連科目、卒業 論文・卒業研究(原則的にAからHの複数の 領域にかかわる心理学関連科目、および卒 業論文・卒業研究最大4単位まで)</p>	<p>卒業研究科目 6単位</p>
<p>(1) + (2) + (3) =合計単位が36単 位以上</p>	

② 上級秘書士について

以下の授業科目を修得することによって、上級秘書士称号認定の申請ができる。

認定申請に必要な単位	対応する授業科目
必修科目（4科目 8単位以上） 基礎的実務実践力（2単位以上） 専門的実務実践力（4単位以上） 学修継続力（2単位以上）	経営学概論 2単位 現代社会と女性 2単位 仕事と人生 2単位 PBL演習 2単位
選択科目（次のⅠ、Ⅱ、Ⅲ群から、それぞれの必要単位数を満たし、16単位以上）	
領域Ⅰ 「基礎的実務実践力分野」 8単位以上	経営管理論 2単位 経営組織論 2単位 秘書学概論 2単位 財務管理論 2単位
領域Ⅱ 「専門的実践力分野」 4単位以上	秘書学演習 2単位 人間文化演習 2単位 女性労働論 2単位
領域Ⅲ 「学習継続力分野」 4単位以上	卒業研究演習 4単位
必修科目及び選択科目合わせて24単位以上	

（注）資格取得を目的として履修する場合は、事前の説明が必要であるため、学務課に申し出ること。

③ 上級情報処理士について

以下の授業科目を修得することによって、上級情報処理士称号認定の申請ができる。

認定申請に必要な単位	対応する授業科目
必修科目（4科目 8単位以上） 基礎的実務実践力（2単位以上） 専門的実務実践力（4単位以上） 学修継続力（2単位以上）	情報科学概論 2単位 情報基礎演習 2単位 ビジネス情報学 2単位 PBL演習 2単位
選択科目（次のⅠ、Ⅱ、Ⅲ群から、それぞれの必要単位数を満たし、計16単位以上）	
領域Ⅰ 「基礎的実務実践力分野」 8単位以上	セキュリティ概論 2単位 表計算演習 2単位 基礎統計学 2単位 文書処理演習 2単位 プレゼンテーション演習 2単位 データベース演習 2単位 WEBデザイン演習 2単位
領域Ⅱ 「専門的実務実践力分野」 4単位以上	情報資格演習 2単位 プログラミング基礎 2単位 プログラミング応用 2単位
領域Ⅲ 「学習継続力分野」4単位以上	人間文化演習 2単位 ビジネスモデル論 2単位 卒業研究演習 4単位
必修科目及び選択科目合せて 24単位以上	

（注）資格取得を目的として履修する場合は、事前の説明が必要であるため、学務課に申し出ること。

④ 社会福祉主事任用資格について

本学において、「厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目（以下、指定科目という）」を修得して卒業することで、社会福祉主事に任用されるために必要な資格が取得できる。なお、社会福祉主事任用資格は以下に挙げる指定科目の修得で取得できるが、地方公務員試験に合格し、福祉事務所に配属されてはじめて「社会福祉主事」を名乗ることができる。

任用資格取得者は、卒業後証明書がなくても任用資格取得の旨を履歴書に記載することができるが、希望すれば大学から「社会福祉主事任用資格取得証明書」を発行する。希望する者は学務課に申請を行うこと。

本学で社会福祉主事任用資格取得に必要とする科目
指定科目（3科目、6単位） 社会福祉論（2単位）、社会保障論（2単位）、心理学概論（2単位）

⑤ 児童指導員任用資格について

厚生労働省による基準で、「学校教育法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者」は、児童福祉施設において児童指導員として任用される資格を得ることができる。

本学においては、①にある認定心理士の認定申請に必要な単位を取得した者に対して、「児童指導員任用資格取得証明書」を発行する。希望する者は学務課に申請を行うこと。

2. 単位制

単位制とは、卒業要件を単位数で表し、要求された単位数の修得によって卒業を認める制度である。

(1) 単位の算定

単位の算定は、普通の講義・演習については週1コマ(90分)15週または30週の授業を受け、その試験等に合格した場合に所定の単位が与えられる。

ただし、特別な演習や実習・実技のような科目の場合は、特別な算定の仕方があるので注意すること。

1年間の履修制限単位数は、40単位である。

(2) 必修科目、選択科目、自由科目

1) 必修科目

全員が履修し、単位を修得しなければならない科目である。したがって、1科目でも必修科目を未修得の場合は、合計単位を満たしても卒業できない。履修年次に指定のあるものは、その年次に履修しなければならない。

2) 選択科目

定められた条件の中から、各自の意思で自由に選べる科目である。この中には所属する専攻によって、必修と定められた科目(選択必修科目)もあるので注意すること。履修年次の指定にも注意すること。

3) 自由科目

1年間の履修制限単位数(40単位)を超えて履修を希望する場合、又は重複履修(1度単位認定をされた科目の再履修)を希望し、科目担当教員の承認を得た場合は、自由科目登録となる。

自由科目は卒業単位として認定されない。また、重複履修科目は単位認定が行われない。

(3) - 1 卒業に必要な単位 (2025 年度以降入学者)

人間文化学部を卒業し「学士」の称号を得るためには、人間文化学部で4年以上在学し、合計124単位以上修得しなければならない。

卒業に必要な単位とその内訳は、次のとおりである。

科目区分	卒業規定単位	備考
共通教養科目		
基盤形成科目	12単位	
外国語科目	8単位	
ウェルネス科目	2単位	
情報・キャリア支援科目	6単位	
専門科目		
導入科目	10単位	
基幹科目	12単位	
発展科目	8単位	
卒業研究科目	10単位	
卒業規定単位数以外に	56単位	
卒業要件単位計	124単位	

(3) -2 卒業に必要な単位 (2024 年度以前入学者)

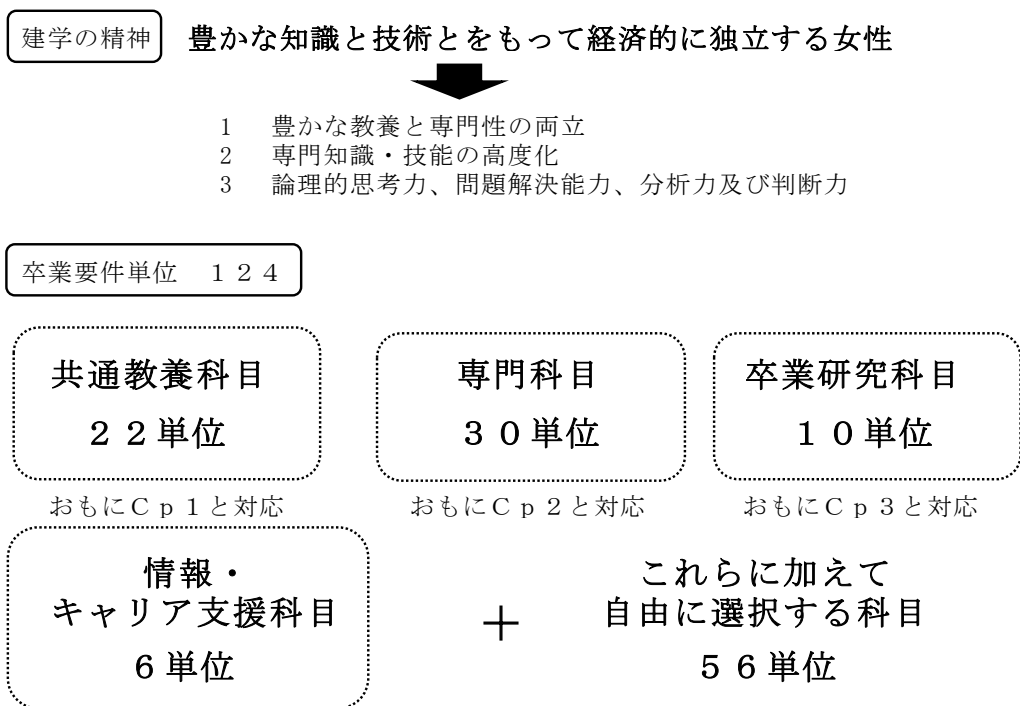
人間文化学部を卒業し「学士」の称号を得るためには、人間文化学部で 4 年以上在学し、合計 124 単位以上修得しなければならない。

卒業に必要な単位とその内訳は、次のとおりである。

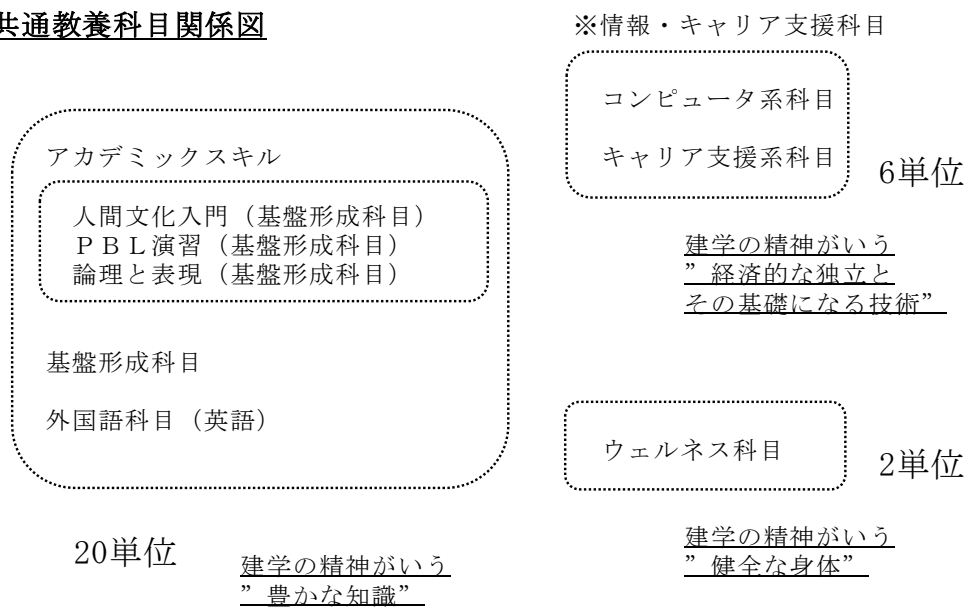
科目区分		卒業規定単位	備考	
共通 教養 科目	初年次教育科目	2 単位		
	基礎科目	20 単位		
	第 1 外国語科目	8 単位		
	第 2 外国語科目	2 単位		
	コンピュータ科目	6 単位		
	キャリア形成科目	4 単位		
	スポーツ健康科目	2 単位		
	計	44 単位		
専門 科目	日本理解専攻	心理・生活専攻	地域共生専攻	ビジネス専攻
	主専攻 (必修科目) (選択科目)	40 単位 (12 単位) (28 単位)		
	副専攻	24 単位		
	他専攻	10 単位	主専攻、副専攻以外の専攻から 10 単位以上を修得すること	
	計	74 単位		
卒業研究科目		6 単位		
卒業要件単位計		124 単位		

3-1. カリキュラムマップ (2025年度以降入学者)

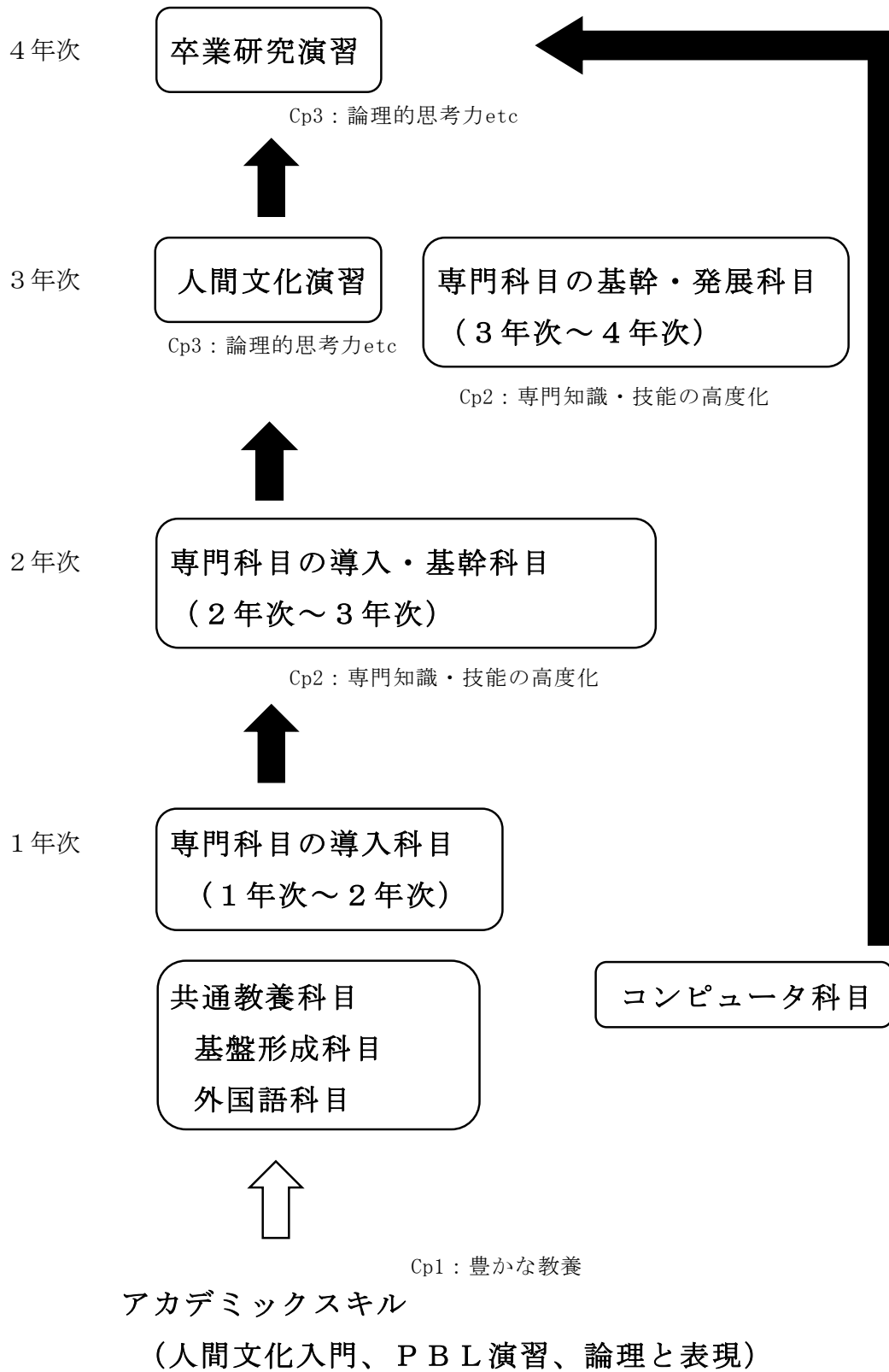
全体図

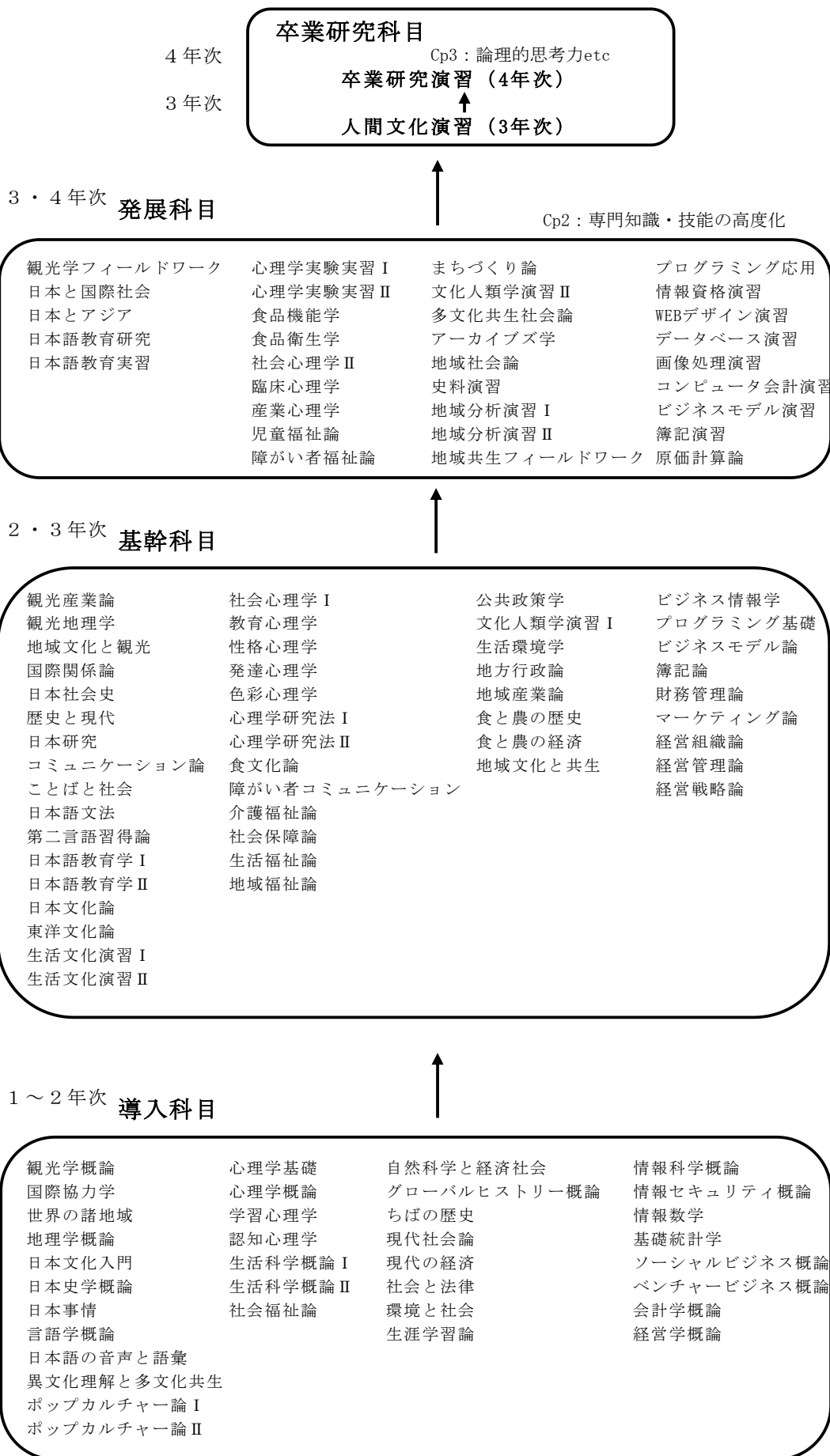


共通教養科目関係図



年次体系





3-2. カリキュラムマップ (2024年度以前入学者)

全体図

建学の精神

豊かな知識と技術とをもって経済的に独立する女性



- 1 豊かな教養と専門性の両立
- 2 専門知識・技能の高度化
- 3 論理的思考力、問題解決能力、分析力及び判断力

卒業要件単位 124

共通教養科目
44単位

おもにC p 1と対応

専門科目
74単位

主専攻40 副専攻24
他専攻10

おもにC p 2と対応

卒業研究科目
6単位

おもにC p 3と対応

共通教養科目関係図

アカデミックスキル

人間文化入門 (初年次教育科目)
PBL演習 (基礎科目)
論理と表現 (基礎科目)

基礎科目

第1外国語科目 第2外国語科目
(英語)

32単位

建学の精神がいう
”豊かな知識”

キャリア形成科目

コンピュータ科目

10単位

建学の精神がいう
”経済的な独立と
その基礎になる技術”

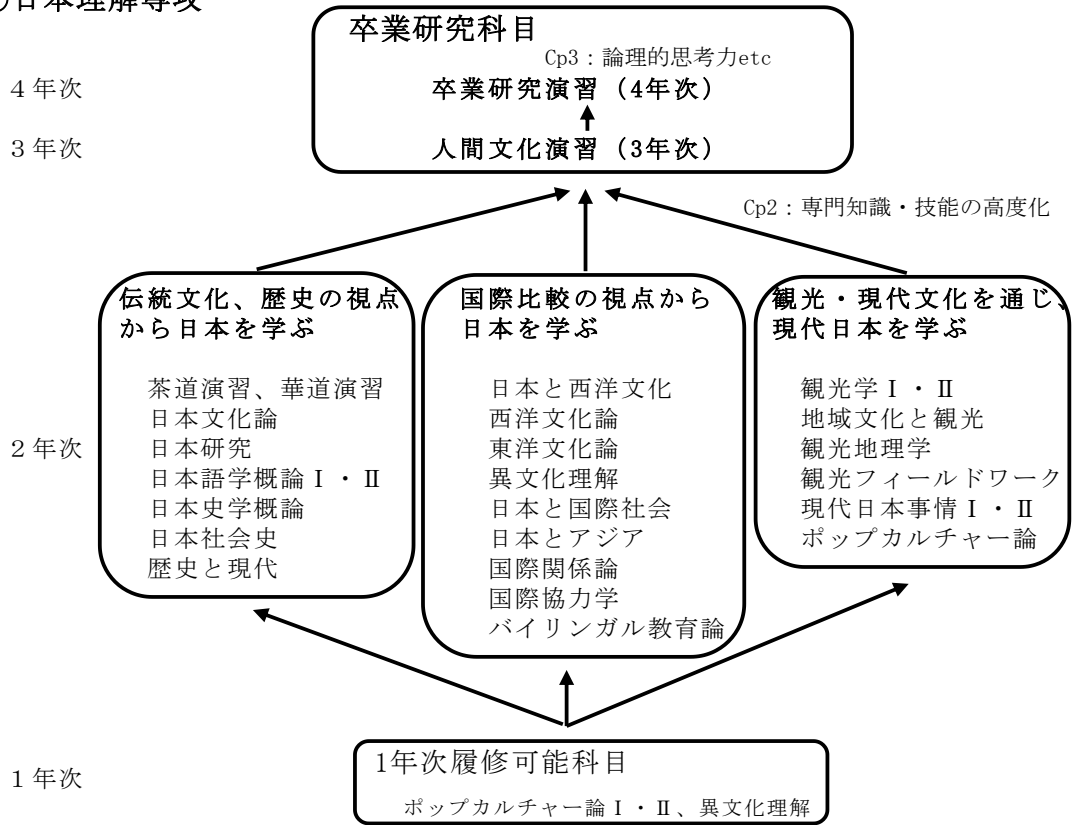
スポーツ健康科目

2単位

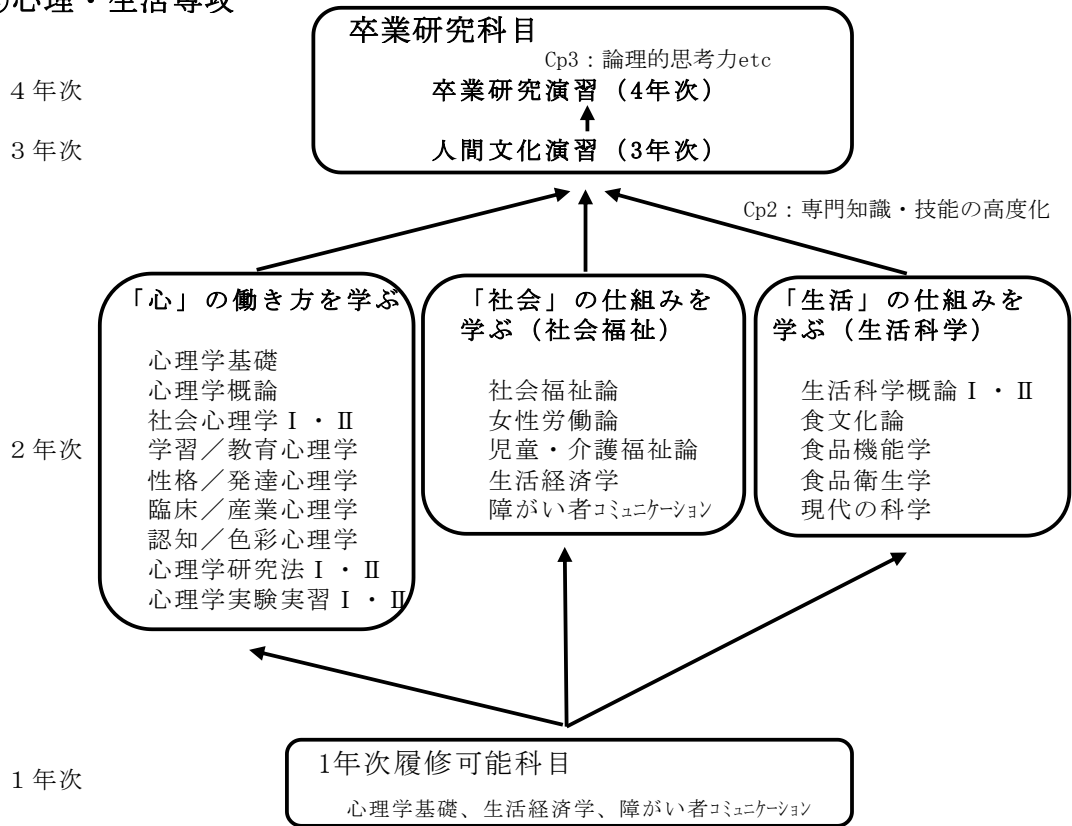
建学の精神がいう
”健全な身体”

専攻ごとのカリキュラム・マップ

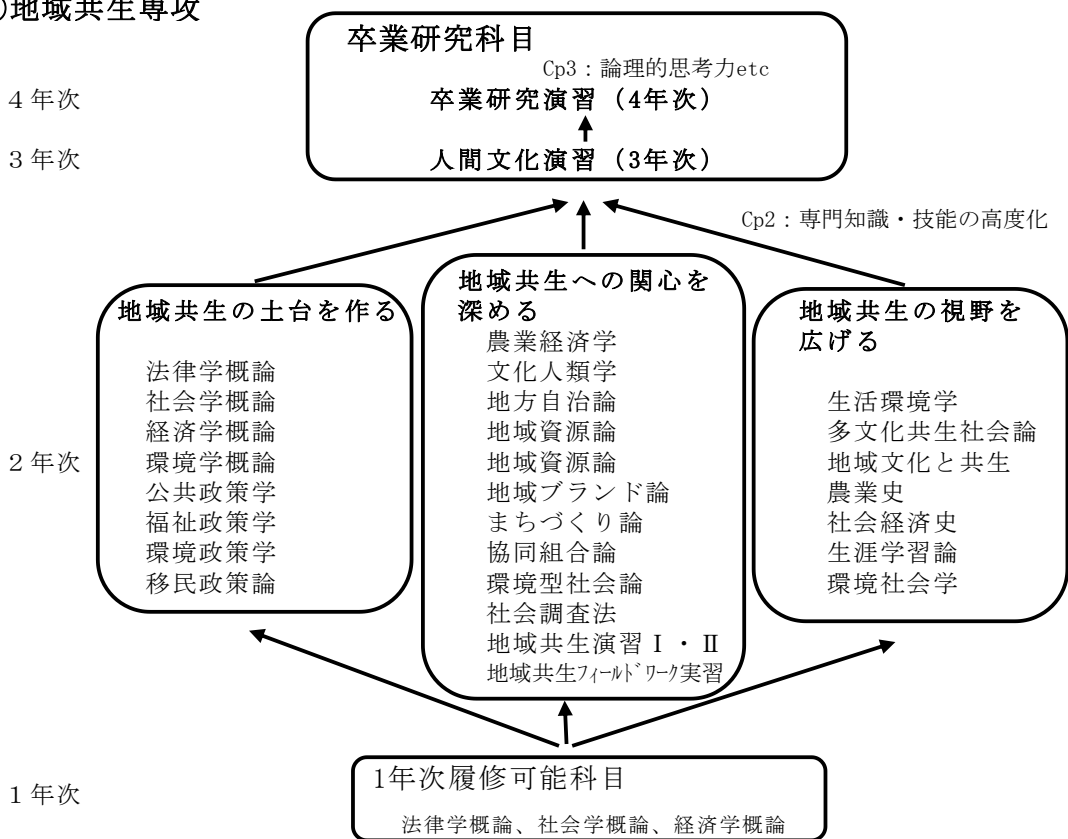
①日本理解専攻



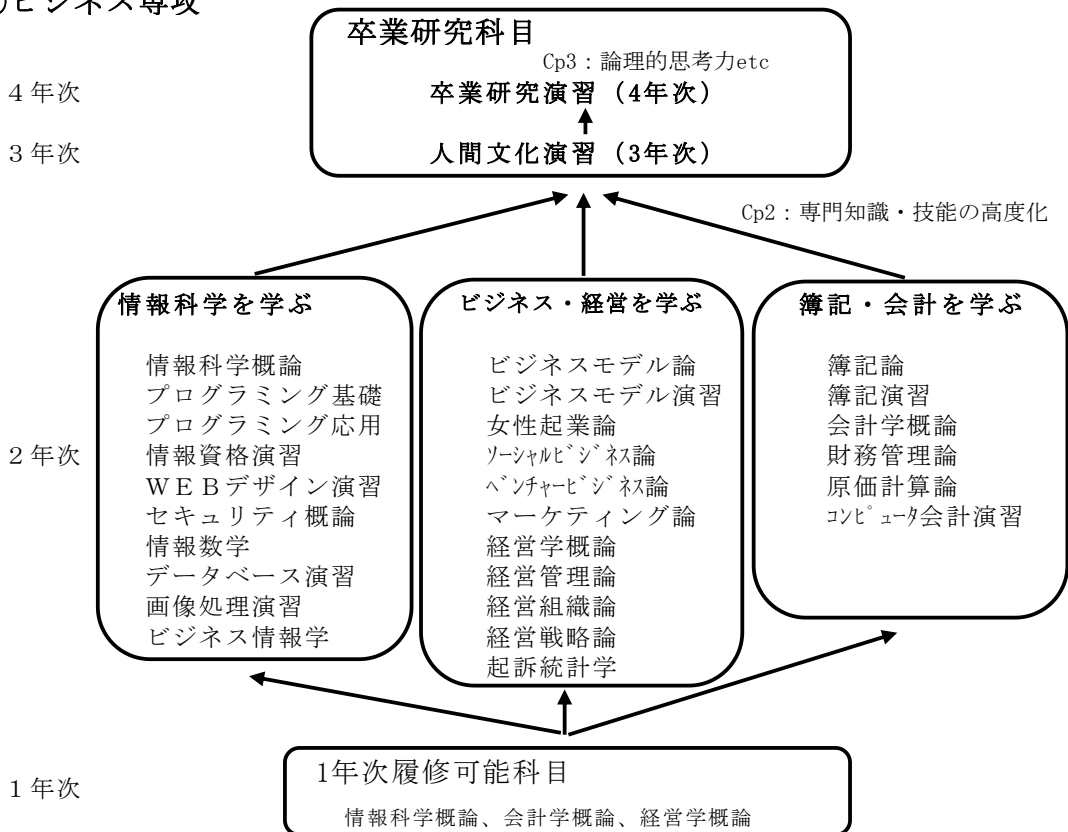
②心理・生活専攻




③地域共生専攻



④ビジネス専攻



4. 年次別教育課程表(2026・2025年度入学者)

- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 → 履修不可

【共通教養科目】(基盤形成科目)				卒業要件単位数 12単位						
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
CB101	人間文化入門	教 授	太田和 良幸 他	2		半期	●			
CB102	現代と人間	教 授	岡庭 義行	2		半期	●			
CB103	PBL演習	准教授	日坂 彰	2		半期	●			
CB104	論理と表現	教 授	大屋 伸彦	2		半期	●			
CB105	現代社会と女性	教 授	中村 博子	2		半期	●			
CB106	情報基礎演習	准教授	呉 鷹	2		半期	●			
【共通教養科目】(外国語科目)				卒業要件単位数 8単位						
CF101	英語Ⅰ	非常勤講師	安藤 郁子	8	2	半期	○	○		
CF102	英語Ⅱ	非常勤講師	安藤 郁子		2	半期	○	○		
CF103	英語Ⅲ	准教授	山崎 寿美子		2	半期	○	○		
CF104	英語Ⅳ	准教授	山崎 寿美子		2	半期	○	○		
CF105	中国語Ⅰ	教 授	市川 遥夏		2	半期	○	○		
CF106	中国語Ⅱ	教 授	市川 遥夏		2	半期	○	○		
CF107	中国語Ⅲ	教 授	太田和 良幸		2	半期		○		
CF108	中国語Ⅳ	教 授	太田和 良幸		2	半期		○		
【共通教養科目】(ウェルネス科目)				卒業要件単位数 2単位						
CW101	健康とスポーツ	教 授	中村 壘		2	半期	○	○		
CW102	保健体育論	非常勤講師	佐藤 誠		2	半期	○	○		
【情報・キャリア支援科目】				卒業要件単位数 6単位						
IC101	仕事と人生	教 授	鈴木 智子	2		半期	●			
IC102	キャリアデザインⅠ	教 授	鈴木 智子	2		半期		●		
IC103	キャリアデザインⅡ	准教授	日坂 彰	2		半期			●	
IC104	女性労働論	教 授	鈴木 智子		2	半期	○	○		
IC105	生活経済学	非常勤講師	久保田 裕子		2	半期	○	○		
IC106	秘書学概論	非常勤講師	大塚 映		2	半期	○	○		
IC107	秘書学演習	非常勤講師	大塚 映		2	半期	○	○		
IC108	文書処理演習	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		
IC109	表計算演習	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		
IC110	プレゼンテーション演習	准教授	呉 鷹		2	半期	○	○		
IC111	自己開発	准教授	原島 雅之		2	半期	○	○		

- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 → 履修不可

【専門科目】(導入科目)				卒業要件単位数 10単位						
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SI101	観光学概論	准教授	吉元 菜々子		2	半期	○	○		
SI102	国際協力学	教 授	梶原 健嗣		2	半期	○	○		
SI103	世界の諸地域	教 授	石毛 一郎		2	半期	○	○		
SI104	地理学概論	教 授	石毛 一郎		2	半期	○	○		
SI105	日本文化入門	教 授	梶原 健嗣		2	半期	○	○		
SI106	日本史学概論	教 授	梶原 健嗣		2	半期	○	○		
SI107	日本事情	准教授	部田 和美		2	半期	○	○		
SI108	言語学概論	准教授	部田 和美		2	半期	○	○		
SI109	日本語の音声と語彙	准教授	部田 和美		2	半期	○	○		
SI110	異文化理解と多文化共生	准教授	清水 聖子		2	半期	○	○		
SI111	ポップカルチャー論Ⅰ	非常勤講師	さちみ りほ		2	半期	○	○		
SI112	ポップカルチャー論Ⅱ	非常勤講師	さちみ りほ		2	半期	○	○		
SI213	心理学基礎	准教授	原島 雅之		2	半期	○	○		
SI214	心理学概論	教 授	中村 博子		2	半期	○	○		
SI215	学習心理学	准教授	佐久間 直人		2	半期	○	○		
SI216	認知心理学	准教授	佐久間 直人		2	半期	○	○		
SI217	生活科学概論Ⅰ	教 授	市川 遥夏		2	半期	○	○		
SI218	生活科学概論Ⅱ	教 授	市川 遥夏		2	半期	○	○		
SI219	社会福祉論	教 授	鈴木 智子		2	半期	○	○		
SI320	自然科学と経済社会	准教授	呉 鷹		2	半期	○	○		
SI321	グローバルヒストリー概論	教 授	中村 壘		2	半期	○	○		
SI322	ちばの歴史	教 授	中村 壘		2	半期	○	○		
SI323	現代社会論	非常勤講師	晨 晃		2	半期	○	○		
SI324	現代の経済	教 授	中村 壘		2	半期	○	○		
SI325	社会と法律	教 授	太田和 良幸		2	半期	○	○		
SI326	環境と社会	教 授	梶原 健嗣		2	半期	○	○		
SI327	生涯学習論	教 授	太田和 良幸		2	半期	○	○		
SI428	情報科学概論	准教授	日坂 彰		2	半期	○	○		
SI429	情報セキュリティ概論	准教授	日坂 彰		2	半期	○	○		
SI430	情報数学	准教授	日坂 彰		2	半期	○	○		
SI431	基礎統計学	教 授	大屋 伸彦		2	半期	○	○		
SI432	ソーシャルビジネス概論	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		
SI433	ベンチャービジネス概論	教 授	大屋 伸彦		2	半期	○	○		
SI434	会計学概論	准教授	呉 鷹		2	半期	○	○		
SI435	経営学概論	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		

- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 → 履修不可

【専門科目】(基幹科目)				卒業要件単位数		12単位				
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SC101	観光産業論	准教授	吉元 菜々子		2	半期		○	○	
SC102	観光地理学	教 授	石毛 一郎		2	半期		○	○	
SC103	地域文化と観光	准教授	吉元 菜々子		2	半期		○	○	
SC104	国際関係論	教 授	梶原 健嗣		2	半期		○	○	
SC105	日本社会史	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC106	歴史と現代	教 授	梶原 健嗣		2	半期		○	○	
SC107	日本研究	教 授	石毛 一郎		2	半期		○	○	
SC108	コミュニケーション論	准教授	清水 聖子		2	半期		○	○	
SC109	ことばと社会	准教授	部田 和美		2	半期		○	○	
SC110	日本語文法	准教授	部田 和美		2	半期		○	○	
SC111	第二言語習得論	准教授	清水 聖子		2	半期		○	○	
SC112	日本語教育学Ⅰ	准教授	清水 聖子		2	半期		○	○	
SC113	日本語教育学Ⅱ	准教授	清水 聖子		2	半期		○	○	
SC114	日本文化論	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC115	東洋文化論	准教授	山崎 寿美子		2	半期		○	○	
SC116	生活文化演習Ⅰ				2	半期		○	○	
SC117	生活文化演習Ⅱ	非常勤講師	稲田 環菜		2	半期		○	○	
SC218	社会心理学Ⅰ	准教授	原島 雅之		2	半期		○	○	
SC219	教育心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SC220	性格心理学	准教授	原島 雅之		2	半期		○	○	
SC221	発達心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SC222	色彩心理学	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC223	心理学研究法Ⅰ	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC224	心理学研究法Ⅱ	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC225	食文化論	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SC226	障がい者コミュニケーション	非常勤講師	小川 雅夫		2	半期		○	○	
SC227	介護福祉論	教 授	鈴木 智子		2	半期		○	○	
SC228	社会保障論	教 授	鈴木 智子		2	半期		○	○	
SC229	生活福祉論	教 授	太田和 良幸		2	半期		○	○	

- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 → 履修不可

【専門科目】(基幹科目)				卒業要件単位数 12単位						
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SC230	地域福祉論	教 授	鈴木 智子		2	半期		○	○	
SC331	公共政策学	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC332	文化人類学演習 I *	准教授	山崎 寿美子		4	半期		○	○	
SC333	生活環境学	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SC334	地方行政論	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC335	地域産業論	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC336	食と農の歴史	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SC337	食と農の経済	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SC338	地域文化と共生	非常勤講師	晨 晃		2	半期		○	○	
SC439	ビジネス情報学	教 授	大屋 伸彦		2	半期		○	○	
SC440	プログラミング基礎	准教授	日坂 彰		2	半期		○	○	
SC441	ビジネスモデル論	准教授	吉元 菜々子		2	半期		○	○	
SC442	簿記論	准教授	呉 蔭		2	半期		○	○	
SC443	財務管理論	准教授	呉 蔭		2	半期		○	○	
SC444	マーケティング論	講 師	中野 慶昭		2	半期		○	○	
SC445	経営組織論	講 師	中野 慶昭		2	半期		○	○	
SC446	経営管理論	教 授	大屋 伸彦		2	半期		○	○	
SC447	経営戦略論	講 師	中野 慶昭		2	半期		○	○	


- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 ◻ → 履修不可





【専門科目】(発展科目)				卒業要件単位数 8単位						
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SA101	観光学フィールドワーク	准教授	吉元 菜々子		2	半期			○	○
SA102	日本と国際社会	教 授	梶原 健嗣		2	半期			○	○
SA103	日本とアジア	教 授	梶原 健嗣		2	半期			○	○
SA104	日本語教育研究				2	半期			○	○
SA105	日本語教育実習				2	半期			○	○
SA206	心理学実験実習Ⅰ*	教 授	中村 博子		2	通年			○	○
		准教授	原島 雅之							
		准教授	佐久間 直人							
SA207	心理学実験実習Ⅱ*	教 授	中村 博子		2	通年			○	○
		准教授	原島 雅之							
		准教授	佐久間 直人							
SA208	食品機能学	教 授	市川 遥夏		2	半期			○	○
SA209	食品衛生学	教 授	市川 遥夏		2	半期			○	○
SA210	社会心理学Ⅱ	准教授	原島 雅之		2	半期			○	○
SA211	臨床心理学	教 授	中村 博子		2	半期			○	○
SA212	産業心理学	教 授	中村 博子		2	半期			○	○
SA213	児童福祉論				2	半期			○	○
SA214	障がい者福祉論				2	半期			○	○
SA315	まちづくり論	教 授	岡庭 義行		2	半期			○	○
SA316	文化人類学演習Ⅱ*	准教授	山崎 寿美子		4	半期			○	○
SA317	多文化共生社会論	准教授	吉元 菜々子		2	半期			○	○
SA318	アーカイブズ学				2	半期			○	○
SA319	地域社会論	教 授	石毛 一郎		2	半期			○	○
SA320	史料演習				2	半期			○	○
SA321	地域分析演習Ⅰ	教 授	石毛 一郎		2	半期			○	○
SA322	地域分析演習Ⅱ	教 授	石毛 一郎		2	半期			○	○
SA323	地域共生フィールドワーク	准教授	山崎 寿美子		2	半期			○	○
SA424	プログラミング応用	教 授	大屋 伸彦		2	半期			○	○
SA425	情報資格演習	准教授	日坂 彰		2	半期			○	○
SA426	WEBデザイン演習	准教授	日坂 彰		2	半期			○	○
SA427	データベース演習	教 授	大屋 伸彦		2	半期			○	○
SA428	画像処理演習	講 師	中野 慶昭		2	半期			○	○
SA429	コンピュータ会計演習	教 授	大屋 伸彦		2	半期			○	○
SA430	ビジネスモデル演習	准教授	吉元 菜々子		2	半期			○	○
SA431	簿記演習	准教授	呉 薦		2	半期			○	○
SA432	原価計算論	准教授	呉 薦		2	半期			○	○


- → 全学年共通必修 ○ → この学年で履修することが望ましい
 ◎ → 該当者は必修 * → 連続2コマ
 → 履修不可

【卒業研究科目】				卒業要件単位数		10単位				
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
GR100	人間文化演習			4		通年	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
GR200	卒業研究演習			4		通年	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
GR300	卒業論文			2		通年	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		教 授	梶原 健嗣							
		准教授	部田 和美							
		准教授	清水 聖子							
		准教授	吉元 菜々子							
		教 授	市川 遥夏							
		教 授	鈴木 智子							
		教 授	中村 博子							
		准教授	原島 雅之							
		准教授	佐久間 直人							
		教 授	石毛 一郎							
		教 授	岡庭 義行							
		教 授	中村 塑							
		准教授	山崎 寿美子							
		教 授	大屋 伸彦							
		准教授	日坂 彰							
		准教授	呉 鳶							
		講 師	中野 慶昭							
【外国人留学生日本語支援科目】				必要単位数		4単位				
FS101	日本語A前	准教授	清水 聖子	1		半期	◎			
FS102	日本語A後	准教授	清水 聖子	1		半期	◎			
FS103	日本語B前	准教授	部田 和美	1		半期	◎			
FS104	日本語B後	准教授	部田 和美	1		半期	◎			

4. 年次別教育課程表(2024・2023年度入学者)

- → この学年で履修(必修)
- → この学年で履修することが望ましい
-  → 履修不可


【共通教養科目】(初年次教育科目)				卒業要件単位数 2単位							
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次					
		職 名	氏 名	必修	選択	期 間	年 次				
							1年	2年	3年	4年	
CB101	人間文化入門	教 授	太田和 良幸 他	2		半期	●				
【共通教養科目】(基礎科目)				卒業要件単位数 20単位							
CB102	現代と人間	教 授	岡庭 義行	2		半期	●				
CB207	人文科学と人間	准教授	原島 雅之	2		半期	●				
CB208	社会科学と人間			2		半期	●				
SI320	自然科学と人間 (自然科学と経済社会)	准教授	呉 鷹	2		半期	●				
CB104	論理と表現	教 授	大屋 伸彦	2		半期	●				
CB103	PBL演習	准教授	日坂 彰	2		半期	●				
SI105	日本文化入門	教 授	梶原 健嗣	2		半期	●				
CB209	日本国憲法			2		半期	●				
CB105	現代社会と女性	教 授	中村 博子	2		半期	●				
IC101	仕事と人生	教 授	鈴木 智子	2		半期	●				
【共通教養科目】(第1外国語科目)				卒業要件単位数 8単位							
CF101	英語 I A-1 (英語 I)	非常勤講師	安藤 郁子	8	1	半期	●				
CF102	英語 I A-2 (英語 II)	非常勤講師	安藤 郁子		1	半期	●				
CF209	英語 I B-1	非常勤講師	安藤 郁子		1	半期	●				
CF210	英語 I B-2	非常勤講師	安藤 郁子		1	半期	●				
	英語 I C-1				1	半期	●				
	英語 I C-2				1	半期	●				
	英語 I D-1				1	半期	●				
	英語 I D-2				1	半期	●				
CF103	英語 II A-1 (英語 III)	准教授	山崎 寿美子		1	半期		●			
CF104	英語 II A-2 (英語 IV)	准教授	山崎 寿美子		1	半期		●			
CF211	英語 II B-1	准教授	山崎 寿美子		1	半期		●			
CF212	英語 II B-2	准教授	山崎 寿美子		1	半期		●			
	英語 II C-1				1	半期		●			
	英語 II C-2				1	半期		●			
	英語 II D-1				1	半期		●			
	英語 II D-2				1	半期		●			
※英語 I A・IB・II A・II Bで8単位 又は 英語 I C・ID・II C・II Dで8単位											

- → この学年で履修(必修)
- → この学年で履修することが望ましい
-  → 履修不可


【共通教養科目】(第2外国語科目)				卒業要件単位数 2単位						
授 業 科 目		担 当 者		単 位 数		開 講 期 間 ・ 年 次				
		職 名	氏 名	必 修	選 択	期 間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
CF105	中国語Ⅰ	教 授	市川 遥夏	2	1	半期	○	○		
CF106	中国語Ⅱ	教 授	市川 遥夏		1	半期	○	○		
	スペイン語Ⅰ				1	半期	○	○		
	スペイン語Ⅱ				1	半期	○	○		
CF213	日本語Ⅰ				1	半期		○		
CF214	日本語Ⅱ				1	半期		○		
※中国語・スペイン語・日本語でいずれか2単位 ※入学時点でJLPT(N2)に合格又はEJU(日本語220点以上)を取得している者は、1年次でも日本語を履修することができる。										
【共通教養科目】(コンピュータ科目)				卒業要件単位数 6単位						
CB106	情報基礎演習	准教授	呉 鳶	2		半期	●			
IC108	文書処理演習	講 師	中野 慶昭	2		半期	●			
IC109	表計算演習	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		
IC110	プレゼンテーション演習	准教授	呉 鳶		2	半期		○		
【共通教養科目】(キャリア形成科目)				卒業要件単位数 4単位						
IC102	キャリアデザインⅠ	教 授	鈴木 智子	2		半期		●		
IC103	キャリアデザインⅡ	准教授	日坂 彰	2		半期			●	
IC106	秘書学概論	非常勤講師	大塚 映		2	半期		○	○	
IC107	秘書学演習	非常勤講師	大塚 映		2	半期		○	○	
【共通教養科目】(スポーツ健康科目)				卒業要件単位数 2単位						
CW101	健康とスポーツ	教 授	中村 塑		2	半期	○			
CW102	保健体育論	非常勤講師	佐藤 誠		2	半期	○			

- → この学年で履修(必修)
- → この学年で履修することが望ましい
- → 履修不可

授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SC114	日本文化論	教 授	岡庭 義行	2		半期	□	●		
SI109	日本語学概論Ⅰ (日本語の音声と語彙)	准教授	部田 和美	2		半期	□	●		
SC110	日本語学概論Ⅱ (日本語文法)	准教授	部田 和美		2	半期	□	○	○	
SI106	日本史学概論	教 授	梶原 健嗣		2	半期	□	○	○	
SC105	日本社会史	教 授	岡庭 義行		2	半期	□	○	○	
SC106	歴史と現代	教 授	梶原 健嗣		2	半期	□	○	○	
SI107	現代日本事情Ⅰ (日本事情)	准教授	部田 和美		2	半期	□	○	○	
SC109	現代日本事情Ⅱ (ことばと社会)	准教授	部田 和美		2	半期	□	○	○	
SI103	西洋文化論 (世界の諸地域)	教 授	石毛 一郎		2	半期	□	○	○	
SI104	日本と西洋文化 (地理学概論)	教 授	石毛 一郎	2		半期	□	●		
SC115	東洋文化論	准教授	山崎 寿美子		2	半期	□	○	○	
SA103	日本とアジア	教 授	梶原 健嗣	2		半期	□	●		
SA102	日本と国際社会	教 授	梶原 健嗣	2		半期	□	●		
SC104	国際関係論	教 授	梶原 健嗣		2	半期	□	○	○	
SI102	国際協力学	教 授	梶原 健嗣		2	半期	□	○	○	
SI110	異文化理解 (異文化理解と多文化共生)	准教授	清水 聖子		2	半期	○	○		
SC111	バイリンガル教育論 (第二言語習得論)	准教授	清水 聖子		2	半期	□	○	○	
SI101	観光学Ⅰ (観光学概論)	准教授	吉元 菜々子	2		半期	□	●		
SC101	観光学Ⅱ (観光産業論)	准教授	吉元 菜々子		2	半期	□	○	○	
SC103	地域文化と観光	准教授	吉元 菜々子		2	半期	□	○	○	
SC102	観光地理学	教 授	石毛 一郎		2	半期	□	○	○	
SA101	観光学フィールドワーク	准教授	吉元 菜々子		2	半期	□	○	○	
SC107	日本研究	教 授	石毛 一郎		2	半期	□	○	○	
SC116	華道演習 (生活文化演習Ⅰ)				2	半期	□	○	○	
SC117	茶道演習 (生活文化演習Ⅱ)	非常勤講師	稲田 環菜		2	半期	□	○	○	
SI111	ポップカルチャー論Ⅰ	非常勤講師	さちみ りほ		2	半期	○	○		
SI112	ポップカルチャー論Ⅱ	非常勤講師	さちみ りほ		2	半期	○	○		

- → この学年で履修(必修)
○ → この学年で履修することが望ましい
 → 履修不可


授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期 間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SI213	心理学基礎	准教授	原島 雅之		2	半期	○			
SI214	心理学概論	教 授	中村 博子	2		半期		●		
SC218	社会心理学Ⅰ	准教授	原島 雅之	2		半期		●		
SA210	社会心理学Ⅱ	准教授	原島 雅之		2	半期		○	○	
SI215	学習心理学	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC219	教育心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SC220	性格心理学	准教授	原島 雅之		2	半期		○	○	
SC221	発達心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SA211	臨床心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SA212	産業心理学	教 授	中村 博子		2	半期		○	○	
SI216	認知心理学	准教授	佐久間 直人	2		半期		●		
SC222	色彩心理学	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC223	心理学研究法Ⅰ	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SC224	心理学研究法Ⅱ	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SA206	心理学実験実習Ⅰ	教 授	中村 博子	2	2	通年		○	○	
		准教授	原島 雅之							
		准教授	佐久間 直人							
SA207	心理学実験実習Ⅱ	教 授	中村 博子	2	2	通年		○	○	
		准教授	原島 雅之							
		准教授	佐久間 直人							
OC103	現代の科学	准教授	佐久間 直人		2	半期		○	○	
SI217	生活科学概論Ⅰ	教 授	市川 遥夏	2		半期		●		
SI218	生活科学概論Ⅱ	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SC225	食文化論	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SA208	食品機能学	教 授	市川 遥夏	2		半期		●		
SA209	食品衛生学	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SI219	社会福祉論	教 授	鈴木 智子	2		半期		●		
IC104	女性労働論	教 授	鈴木 智子		2	半期		○	○	
SC227	介護・児童福祉論 (介護福祉論)	教 授	鈴木 智子		2	半期		○	○	
IC105	生活経済学	非常勤講師	久保田 裕子		2	半期	○	○		
SC226	障がい者コミュニケーション	非常勤講師	小川 雅夫		2	半期	○	○		






- → この学年で履修(必修)
- → この学年で履修することが望ましい
-  → 履修不可

授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SI325	法学概論 (社会と法律)	教 授	太田和 良幸		2	半期	○	○		
SI323	社会学概論 (現代社会論)	非常勤講師	晨 晃		2	半期	○	○		
SI324	経済学概論 (現代の経済)	教 授	中村 塑		2	半期	○	○		
SI326	環境学概論 (環境と社会)	教 授	梶原 健嗣		2	半期		○	○	
SC331	公共政策学	教 授	岡庭 義行	2		半期		●		
SC229	福祉政策学 (生活福祉論)	教 授	太田和 良幸		2	半期		○	○	
OC102	環境政策学	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
OC103	環境社会学	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SC333	生活環境学	教 授	市川 遥夏		2	半期		○	○	
SC337	農業経済学 (食と農の経済)	教 授	中村 塑	2		半期		●		
SA316	文化人類学 (文化人類学演習Ⅱ)	准教授	山崎 寿美子	2		半期		●		
SC334	地方自治論 (地方行政論)	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC335	地域資源論 (地域産業論)	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SC332	地域ブランド論 (文化人類学演習Ⅰ)	准教授	山崎 寿美子		2	半期		○	○	
SA315	まちづくり論	教 授	岡庭 義行		2	半期		○	○	
SA316	循環型社会論 (文化人類学演習Ⅱ)	准教授	山崎 寿美子		2	半期		○	○	
SI322	協同組合論 (ちばの歴史)	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SA319	移民政策論 (地域社会論)	教 授	石毛 一郎	2		半期		●		
SA317	多文化共生社会論	准教授	吉元 菜々子		2	半期		○	○	
SC338	地域文化と共生	非常勤講師	晨 晃		2	半期		○	○	
SC332	社会調査法 (文化人類学演習Ⅰ)	准教授	山崎 寿美子	2		半期		●		
SI321	社会経済史 (グローバルヒストリー概論)	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SC336	農業史 (食と農の歴史)	教 授	中村 塑		2	半期		○	○	
SI327	生涯学習論	教 授	太田和 良幸		2	半期		○	○	
SA321	地域共生演習Ⅰ (地域分析演習Ⅰ)	教 授	石毛 一郎		2	半期		○		
SA322	地域共生演習Ⅱ (地域分析演習Ⅱ)	教 授	石毛 一郎		2	半期		○	○	
SA323	地域共生フィールドワーク実習	准教授	山崎 寿美子	2		半期			●	

- → この学年で履修(必修)
 ○ → この学年で履修することが望ましい
 □ → 履修不可

授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次				
		職 名	氏 名	必修	選択	期間	年 次			
							1年	2年	3年	4年
SI428	情報科学概論	准教授	日坂 彰		2	半期	○	○		
SC439	ビジネス情報学	教 授	大屋 伸彦	2		半期	□	●		
SC440	プログラミング基礎	准教授	日坂 彰		2	半期	□	○	○	
SA424	プログラミング応用	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	□	○	
SA425	情報資格演習	准教授	日坂 彰	2		半期	□	●		
SA426	WEBデザイン演習	准教授	日坂 彰		2	半期	□	○	○	
SI429	セキュリティ概論 (情報セキュリティ概論)	准教授	日坂 彰		2	半期	□	○		
SI430	情報数学	准教授	日坂 彰		2	半期	□	○	○	
SA427	データベース演習	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	○	○	
SA428	画像処理演習	講 師	中野 慶昭		2	半期	□	○	○	
SI431	基礎統計学	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	○	○	
SA429	コンピュータ会計演習	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	□	○	
SC441	ビジネスモデル論	准教授	吉元 菜々子	2		半期	□	●		
SA430	ビジネスモデル演習	准教授	吉元 菜々子		2	半期	□	○	○	
OC104	女性起業論	非常勤講師	久保田 裕子	2		半期	□	●		
SI432	ソーシャルビジネス概論	講 師	中野 慶昭		2	半期	□	○	○	
SI433	ベンチャービジネス論 (概論)	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	○	○	
SC442	簿記論	准教授	呉 蔭	2		半期	□	●		
SA431	簿記演習	准教授	呉 蔭		2	半期	□	○	○	
SI434	会計学概論	准教授	呉 蔭		2	半期	○	○		
SC443	財務管理論	准教授	呉 蔭		2	半期	□	○	○	
SA432	原価計算論	准教授	呉 蔭		2	半期	□	○	○	
SI435	経営学概論	講 師	中野 慶昭		2	半期	○	○		
SC444	マーケティング論	講 師	中野 慶昭	2		半期	□	●		
SC445	経営組織論	講 師	中野 慶昭		2	半期	□	○	○	
SC446	経営管理論	教 授	大屋 伸彦		2	半期	□	○	○	
SC447	経営戦略論	講 師	中野 慶昭		2	半期	□	○	○	

- → この学年で履修(必修)
- → この学年で履修することが望ましい
-  → 履修不可

【卒業研究科目】				卒業要件単位数 6単位							
授 業 科 目		担当者		単位数		開講期間・年次					
		職名	氏名	必修	選択	期間	年 次				
							1年	2年	3年	4年	
GR100	人間文化演習			2		通年			●		
GR200	卒業研究演習			4		通年				●	
	日本理解専攻	教 授	梶原 健嗣								
		准教授	部田 和美								
		准教授	清水 聖子								
		准教授	吉元 菜々子								
	心理・生活専攻	教 授	市川 遥夏								
		教 授	鈴木 智子								
		教 授	中村 博子								
		准教授	原島 雅之								
		准教授	佐久間 直人								
	地域共生専攻	教 授	石毛 一郎								
		教 授	岡庭 義行								
		教 授	中村 塑								
		准教授	山崎 寿美子								
	ビジネス専攻	教 授	大屋 伸彦								
		准教授	日坂 彰								
		准教授	呉 蔭								
		講 師	中野 慶昭								
【外国人留学生日本語支援科目】				必要単位数 8単位							
FS101	日本語 I A-1前(日本語A前)	准教授	清水 聖子	1		半期	●				
FS102	日本語 I A-1後(日本語A後)	准教授	清水 聖子	1		半期	●				
	日本語 I A-2前			1		半期	●				
	日本語 I A-2後			1		半期	●				
FS103	日本語 I B-1前(日本語B前)	准教授	部田 和美	1		半期	●				
FS104	日本語 I B-1後(日本語B後)	准教授	部田 和美	1		半期	●				
	日本語 I B-2前			1		半期	●				
	日本語 I B-2後			1		半期	●				
FS205	日本語 II A-前	准教授	清水 聖子	1		半期		●			
FS206	日本語 II A-後			1		半期		●			
FS207	日本語 II B-前	准教授	部田 和美	1		半期		●			
FS208	日本語 II B-後	准教授	部田 和美	1		半期		●			
	日本語 II C-前			1		半期		●			
	日本語 II C-後			1		半期		●			

5. 履修方法

(1) 履修の計画

各年度における履修計画は、開設科目や各年度の授業時間割表をもとに、授業概要をよく読み選択すること。

(2) 履修登録

各年次において履修しようとする授業科目は、当該年度の指定された期日に、指定の方法で履修登録を行わなければならない。単位取得の重要な手続きになるので、以下の留意事項を熟読して、誤りのないようにすること。

なお、履修科目は、学期の途中で変更することはできない。

[履修登録の留意事項]

① 履修科目の申告

授業科目を履修するためには、各年度において指定された期日、方法で履修登録をしなければならない。**指定の期日までに履修登録がなされなかった場合は、履修の意思がないものとして扱う。**

② 履修登録と受講

履修登録がされていない授業科目については、授業に出席しても試験を受けられず、単位は認定されない。

③ 年間履修単位数

各年度で1年間に登録できる履修単位数は、40単位以内とする。ただし、GPA評価が3.0以上の場合、46単位を上限として履修することができる。希望者は、履修登録の際に申し出ること。これを越えた登録科目は、自由科目となり、卒業単位には算入されない。履修登録の際、自由科目とする授業科目を申告すること。

④ 重複履修

前年度までに単位を取得した授業科目の再履修を希望する場合、科目担当教員の承認を得た場合には、自由科目登録となり、単位認定は行われない。

(3) 履修カード

履修申告と併せて、履修カードを提出しなければならない。履修カードは、授業科目担当者への履修申告となるので必ず提出しなければならない。

[留意事項]

① 履修カードは、1科目につき1枚用意し、授業の初回に担当教員の指示により提出すること。

② 履修カードを担当教員に提出しても、履修登録を行っていない場合は単位認定は行われない。

6. 専攻と研究指導教員

6-1 2025年度以降入学者

本学人間文化学部では、「日本理解」、「心理・生活」、「地域共生」、「ビジネス」の4つの専攻を設けている。3年次から、いずれかの専攻の下で卒業研究科目を履修し、そこで卒業論文作成に取り組むことになる。

6-2 2024年度以前入学者

本学人間文化学部では、「日本理解」、「心理・生活」、「地域共生」、「ビジネス」の4つの専攻を設けている。

2年次後期から、4専攻のいずれかに「主専攻」として所属し、そこで卒業論文作成に取り組むことになる。「主専攻」以外に「副専攻」を選択し、さらに「他専攻」の専門科目を履修して、幅広い教養を身につける。「他専攻」とは、「主専攻」及び「副専攻」以外の専攻を指す。

(1) 専攻の選択

2年次の学生は、前期終了前に行われる専攻選択ガイダンスにおいて、各専攻の説明を受けて、「主専攻」「副専攻」に所属するための申請書を提出する。**指定の期日までに申請書を提出しなかった学生の所属は、希望する専攻がないものとみなし大学で決定する。**

また、専攻への申請数に大きな偏りがある場合は、成績（GPA）、出席率、全学漢字実力テストのスコア、キャンパスポイント（P44 参照）等を基準に、大学が所属を決定する。

「主専攻」の所属学生数には上限があり、いずれかの専攻に希望が殺到した場合には希望する「主専攻」に入れないこともある。

(2) 研究指導教員の選択

3年次から人間文化演習を履修し、各専攻の専門的な学びを始め、卒業論文作成の準備を行う。そのため、2年次の学生は、冬期休暇明けのゼミ選択ガイダンスでの各教員の研究及び指導分野のテーマや説明を聞いて、「主専攻」の教員の中から、卒業研究指導を受けたい教員を選択する。

教員の卒業研究指導担当学生数には上限があり、希望者の数に偏りがある場合は、その調整は専攻の教員間で行われることがある。

■キャンパスポイント

大学イベントへの貢献度によって付与される。下表のイベントには積極的に参加すること。

キャンパスポイントの獲得ポイント数に応じて、毎年度、優秀活動賞として若干名を表彰する。

キャンパスポイント付与イベントとポイント数一覧

	イベント名		ポイント数		
			参加	遅刻・早退	特別付与
1	入学式		10	5	20 「歓迎の辞」など
2	ガイダンス		10	5	20 通訳などでの補助
3	撫子祭	準備及び片付け (1日単位)	20		10 実行委員会活動/出展者
		当日(1日単位)	10		
		連携行事	ポイントは撫子祭に準ずる		産業まつりへの出展等
4	卒業式予行		10	5	
	卒業式		10	5	20 「送辞」など
5	卒業論文発表会		10		卒業論文発表者を除く
6	全学漢字実力テスト (各回単位)		10		
7	オープンキャンパス		20		10 事前準備
8	就職セミナー		10		
9	大学広報活動		20		10 大学案内に協力 事前準備 など
10	大学正課外活動		20		10 事前準備
11	学校説明会・出前授業等		20		10 事前準備
12	なでしこ祭		10		20 事前準備
13	四街道市国際交流協会 日本語スピーチ発表会		30		
14	ボランティア活動 (撫子祭関連行事除く)		20		10 事前準備
15	その他		10 ~30		

7. クラス担任制と履修相談

(1) クラス担任制

入学時に5名～10名のクラスを設け、クラス担任が配置されているので、学修等で困っていることがあれば相談すること。クラス担任は、ガイダンス時に発表する。

(2) 履修相談

クラス担任による履修相談に加え、学務課でも常に履修相談ができる。

8. 単位認定

履修登録科目について、その試験に合格したときは、科目それぞれについて所定の単位が認定される。

なお、特別な単位認定として次のものがある。

(1) 他大学及び大学以外の教育施設等において履修した科目の単位の認定

他大学及び大学以外の教育施設等において履修した科目は、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものと認定されることもある。

(2) 入学前の既修得単位の認定

本学に入学する前に大学等において修得した科目の単位は、60単位を超えない範囲で、認定することができる。

(3) 編入学・転入学学生の既修得単位の認定

本学に編入学及び転入学を許可された者で、入学する前に大学等において修得した科目の単位の取扱いについては、別に定める規程に従い、既修得単位としての認定を受けることができる。

(4) その他

① 日商簿記検定2級合格者には「簿記論」の2単位を認定する。

② TOEIC[®] 500点以上取得した者には、2024年度以前の入学者においては、共通教養科目（第一外国語）「英語」を、2025年度入学者においては、共通教養科目（外国語科目）「英語」について、2単位を上限として認定する場合がある。

9. 外国人留学生日本語支援科目の履修方法

(1) 外国人留学生日本語支援科目の位置づけ

外国人留学生に対し、本学の授業科目を受けていくための基礎力を育成するため、支援科目として日本語科目を開設している。この科目は卒業要件単位以外の予科として設けるものであり、この科目そのものには単位が付与されない。

(2) 外国人留学生日本語支援科目の履修

外国人留学生は、外国人留学生日本語支援科目として開講する「日本語A」、「日本語B」を履修し、4単位を修得しなければならない（くわしい科目一覧は次ページ）。当該科目において所定の単位を修得できなければ、卒業研究演習の単位は授与されない。

ただし、大学が十分な日本語能力があると認めた者については、当該科目の履修を免除することがある。

(3) - 1 外国人留学生日本語支援科目一覧 (2025 年度以降入学者)

授 業 科 目	授業方法	単位数	期 間	開講年次		必要要件
				1 年	2 年	単位数
日本語A前	演習	1	半 期	○		4 単位
日本語A後	演習	1	半 期	○		
日本語B前	演習	1	半 期	○		
日本語B後	演習	1	半 期	○		

(3) - 2 外国人留学生日本語支援科目一覧 (2024 年度以前入学者)

授 業 科 目	授業方法	単位数	期 間	開講年次		必要要件
				1 年	2 年	単位数
日本語ⅠA-1 前	演習	1	半 期	○		8 単位
日本語ⅠA-1 後	演習	1	半 期	○		
日本語ⅠA-2 前	演習	1				
日本語ⅠA-2 後	演習	1				
日本語ⅠB-1 前	演習	1	半 期	○		
日本語ⅠB-1 後	演習	1	半 期	○		
日本語ⅠB-2 前	演習	1				
日本語ⅠB-2 後	演習	1				
日本語ⅡA-前	演習	1	半 期		○	
日本語ⅡA-後	演習	1	半 期		○	
日本語ⅡB-前	演習	1	半 期		○	
日本語ⅡB-後	演習	1	半 期		○	
日本語ⅡC-前	演習	1				
日本語ⅡC-後	演習	1				